

介護保険 制度改正による問題を どう考えているか

国でも検討しているため
その動向を注視したい

服部 ひとみ議員 平成18年4月の介護保険制度改正により、新予防給付が創設され、それまで要介護1の人が原則要支援2となり、結果、制度を利用できなくなるなどの事態が生じている。この状況を市はどう考えているか。

また、同制度改正による介護報酬の切り下げ等に伴い、ケアマネージャーの離職も問題となっている。本市でも、この離職が心配されているが、人材確保の方策は。福祉保健部長 現在、国でも現状の問題点と対応について検討しているため、その動向を注視していきたい。

ケアマネージャーの定着率を上げるためには、介護報酬や労働環境の改善、社会的地位の向上など、制度上の問題解決が必要と言われている。本市では、ケアマネージャーに対して、様々な情報提供、各種相談、研修等を行いながら、働きがいが高めるための支援をしていきたい。

平成19年第4回定例会は
12月3日(月)
午前10時
開会の予定です。

常任委員会からの審査報告

総務委員会

第39号議案
府中市基本構想の一部改訂について

この議案は、近年の社会経済情勢の変化に伴い、急激な人口流入が進んだことを踏まえ、既定の人口規模を改めるもの

主な改訂内容は、「基本構想の計画期間である平成25年度末までに見込まれる人口を、1万7000人増やし、25万4000人と改める」、「年齢層別の構成比は、0歳から14歳までの年少人口比を13.1%に、15歳から64歳までの生産年齢人口比を67.2%に、65歳以上の老年人口比を19.7%にそれぞれ改める」等の説明があった。

質疑に対して、「この人口予測は現在の人口や生存率、合計特殊出生率等に基づき算出されたものである」と説明があった。また、「改訂前の人口予測も、同じ手法を用いて算出したものだが、現在の状況で算出すると25万4000人になるということであり、市として望む人口を示したのではない」、「今回、人口を増やしたことについては、それほど大きな影響はないと考えているが、中には対応が必要となる施設もあると思われるので、今後施設ごとの検証して対応する必要があると考えている」等の答弁があった。

厚生経済委員会

第44号議案
府中市第11美好町住宅改築工事請負契約

この議案は、府中市美好町2丁目51番地において、府中市第11美好町住宅改築工事を施工するもの

主な内容は、「住戸2棟と集会所の建設工事であり、いずれも鉄筋コンクリート造で、一部鉄骨造となっている」、「1号棟、2号棟ともに地上5階建て、集会所は1号棟に含まれており、延べ床面積3744.84㎡の工事となっている」、「入札を公募型指名競争入札により実施した結果、三浦・土方建設共同企業体が落札した」等の説明があった。

質疑に対して、「従来の建物は、生率等の基礎データにより算出したものである」、「改訂前の人口予測も、同じ手法を用いて算出したものだが、現在の状況で算出すると25万4000人になるということであり、市として望む人口を示したのではない」、「今回、人口を増やしたことについては、それほど大きな影響はないと考えているが、中には対応が必要となる施設もあると思われるので、今後施設ごとの検証して対応する必要があると考えている」等の答弁があった。

建設環境委員会

第55号議案
平成18年度府中市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

本決算の総額は、歳入が43億7261万1千円で執行率99.9%、歳出が42億8484万3千円で執行率98.0%となっている。

歳入の主なものは、下水道使用料及び一般会計からの繰入金で、下水道使用料は、現年度分が延べ143万2222件分、過年度分が平成17年度までの9828件分となっている。

歳出は、下水道費と公債費ととなっている。質疑に対して、「台風等に伴い大雨警報が発令した場合には、担当職員が全員体制で市内の現場パトロールを行っている」、「日常業務の中で現金収入が発生した場合、領収証と照合した上で、施錠可能な場所に保管し、月に一度、市の収入として納入している」、「企業などから譲り受け、既に耐用年数が過ぎている下水道管の更新工事については、全体のうち8割が既に終了しており、20年度にはすべて完了する予定である」等の答弁があった。

委員から、「現金を取扱う際には、金額の多寡にかかわらず、これまで同様、事故のないように管理することを要望する」、「台風等の発生に備え、マンホールや施設等の事前点検について、引き続き緊張感を持って対応することを要望し、本案に賛成する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会からの中間報告

基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況に関して、都より、東京国体の開催に当たり、味の素スタジアムをメインスタジアムとするために必要な施設等を武蔵野の森西側都府有地に設置することについて、協力要請があった。

これを受け、本市では、当該地は、調布飛行場の受入れとともに、三鷹市、調布市及び本市の地元3市と都との間で合意した調布基地跡地利用計画に基づき、いわゆる「5館構想」の整備用地となっているため、調布

再開発対策特別委員会

府中駅南口A地区市街地再開発準備組合では、三役会及び理事会が開催され、コンサルタン及び事務局から、事業計画の策定状況、同意活動の進捗よく状況の報告を受けたほか、部会の設置に関する検討が行われた。事業計画については、A地区のイメージ図が作成され、その中で、建物のけやき並木側は、屋根付きの空間を設け、市民の憩いの広場としている。外観のデザインや色彩等の詳細は、「府中駅南口周辺環境・景観デザイン

基地跡地関連事業推進協議会において協議すべき事項であることを都に申し入れた。病院用地については、国から、警視庁第七機動隊の移転候補地として検討されている旨の説明を受けた。

府中基地跡地留保地の状況に関して、国立医薬品食品衛生研究所の移転に係る諸課題について、同研究所及び市の関係課において、それぞれ検討を行っているところである等の報告があり、これを了承した。

鉄道対策特別委員会

西府土地区画整理事業の状況について、平成19年度は、学校道の線路北側部分の下水道幹線の切り替え工事及び都市計画道路の路盤工事等2路線の工事が着手されたほか、現在までに14棟の建物移転の保証契約が完了している。

また、京王電鉄バスとの協議では、西府駅へのバス路線の乗り入れについて正式に依頼し、バス路線設定の具体的な検討を進めるとの回答を受けている。

京王線第二期高架化計画に関して、都では、他に優先すべき路線があることなどから、同計画区間の立体化を長期的な課題と考えており、事業が進展していない状況だが、京王線と交差する新小金井街道の、旧甲州街道から、しみず下通りまでの区間は、都が技術的課題を解決し、京王線の下を通る構造として、22年度末の開通を目標に工事を進めている等の報告があり、これを了承した。